

どてらごや

第 12 号
平成24年2月
瑞宝山 不動寺
TEL 75-4862

70年ぶりに 護摩焚き法要厳修

平成23年12月22日に護摩壇の修復が完成し、新たに護摩天蓋が新調されるとともに、この際、灯籠などその他の堂内備品も塗り替え修復や花瓶の新調もされ、見違えるほどの護摩堂として完成いたしました。

そして平成23年12月28日、終い不動の縁日に修復完成した護摩壇の開壇と東日本大震災及び台風12号被災者の慰霊を兼ねた護摩焚き法要が副住職辻和道師の行者作法のもと約40名が参詣者が見守るなか厳肅に厳修されました。



護摩を焚くには前方便から入壇し、護摩木を炊きあげるまで約2時間を要する長座となります。そのため午前中に前方便に入り、必要な作法を済ませた上で午後の本護摩壇に入壇しました。

今回の護摩法要では参詣者に祈願を書き添えた護摩木が導師の読み上げとともに炊きあげられ、開壇、慰霊とともに息災護摩として営まれました。

護摩の炎が上がると同時に護摩壇の周囲に陣取った参詣者は合掌しながら約1時間の間、熱心に般若心経、不動真言を唱え続けました。

護摩法要が終われば、参詣者は護摩釜の周囲に寄り添い、護摩の法煙を身に浴びて、更なる息災厄除け、身体健康などを祈願していました。

そのあと庫裡では大根炊きのお接待があり、本堂での長座を労いながら「おいしいね」といいながら、熱々の大根を頬張っていました。

なお、この法要に際し、浄財をご喜捨いただいた皆さまにこの誌上をお借りして心からお礼申し上げます。



平成24年初不動大祭

平成24年1月28日初不動大祭が開催されました。奉詠法要と護摩炊き法要が厳修され、お善哉のお接待やお餅まきなどにぎやかな初不動となりました。

お餅投げのころには天気も晴れ、近所の子どもたちもおおぜい集まり、「こっちにまいてエ～」などと大声を張り上げ、袋いっぱいにお餅やお菓子を拾っていました。

